

# 私たちの道

## MCWAYを感じる

### 「いい仕事」に必要なこと

お客さま・MCに「持続的に」貢献していきたい。

→ 時間と体力には限りがある。

→ いかにして、「いい仕事」を継続していくか? が求められる。

では、「いい仕事」に必要な要素とはなにか?

## 1. 「短期視点」と「中長期視点」を行き来すること

### ・ 過去の経験

中長期視点は大切だが、この視点だけを持っていると不確実な将来について「答えのない悩み」におちいってしまい、実行ができなくなる。

### ・ 気づき

中長期視点に立って目標を考えつつ、実行するときには短期視点で動くことを心がける

## 2. 「仮説」をもつ

### ・ 過去の経験

お客さまと将来の目標を設定したのち、実行のためのアクションプランを策定してモニタリングを実施したが、報告会が非常に形式的になってしまった(〇〇はできました、××はできませんでした、来月は△△します)

### ・ 気づき

アクションプラン策定時に、仮説(これを実行したらこうなるはず)がなく、足元の取り組みの分析が場当たり的になり、次のアクションに繋がらない。

たとえ足元では粗いものであっても、「仮説」をもって実行し、うまくいったときもいかなかったときもその「差」を認識することが大切

## 3. 「楽しく！」とりくむ

### ・ 過去の経験

義務感(やらなければいけないこと)という意識が強く、会議が固い雰囲気になり、資料をもとにした報告と検討に終始する場となって、お客さまの従業員の士気を上げることができなかった。

視座が低く、視野が狭くない、現状の延長線上の課題に終始してしまった。

### ・ 気づき

「悲観」は気分、「楽観」は意志。仕事を楽しいかどうかは、自分の考え方次第。社長の対話の場にワクワク感はあるか? 話す時に口角があがっているか?

「楽しさ」と「甘え」は違う。

楽しく仕事をするにより、自然と視座が高く、視野が広がってくる。そうすると、目の前の課題が「本質的な課題」なのかがみえてくる。